



[V] ワークショップ，班会議プログラム

# アミロイドーシスに関する研究班ワークショップ

## プログラム

日時：平成 11 年 8 月 27 日（金） 午前 9:30～

場所：ホテルライフオート札幌（2階 ライフオート）

（札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 Tel 011-521-5211, Fax 011-513-5193）

挨拶

主任研究者 信州大学医学部第三内科 池田修一 (9:30～9:45)

座長 今井浩三

1. AL アミロイドーシス研究の現状と今後の課題 (9:45～10:10)  
札幌医科大学医学部第一内科 今井浩三
2. IL-6 シグナル伝達阻害による AA アミロイドーシス治療へのアプローチ (10:10～10:55)  
大阪大学健康体育部健康医学第一部門 吉崎和幸
3. 慢性関節リウマチ(RA)と AA アミロイドーシス (10:55～11:40)  
道後温泉病院リウマチセンター リウマチ内科 高杉 潔

昼食・班員連絡会議（4階 グラーベ） (11:40～13:00)

座 長 石 原 得 博

4. 脳アミロイドーシス研究の現状と新たな展望 (13:00～13:45)  
群馬大学医学部神経内科 東海林幹夫
5. 心アミロイドーシスの病理学的考察 (13:45～14:30)  
国立循環器病センター臨床検査部病理 由谷親夫、池田善彦
6. FAP 研究のまとめと今後の課題 (14:30～15:15)  
宮崎医科大学医学部第三内科 中里雅光
7. FAP と肝移植について：現状と問題点 (15:15～15:30)  
信州大学医学部第三内科 池田修一、武井洋一

休 憩 (15:30～15:45)

座 長 樋 口 京 一

8. 透析アミロイドーシス管理とその対策 (15:45～16:30)  
虎ノ門病院分院腎センター血液浄化療法部 原 茂子
9. 実験的 AA アミロイドーシス発症機序に関して (16:30～17:15)  
山口大学医学部第一病理学 石原得博

懇 親 会 (4 階 アニマート) (18:00～)

厚生省 特定疾患対策研究事業

# アミロイドーシスに関する研究

平成 11 年度 研究報告会

## プログラム

日 時：平成 12 年 2 月 3 日（木） 13：00－16：45  
2 月 4 日（金） 9：00－16：35

場 所：KKR ホテル東京 11 階 丹頂の間  
東京都千代田区大手町 1-4-1  
TEL 03-3287-2921（代表）

主任研究者 池 田 修 一

- ・発表時間は 1 演題につき発表 10 分，討論 5 分です。
- ・重点研究事業は 1 演題につき発表 20 分，討論 5 分です。
- ・○印は演者です。
- ・スライドプロジェクターは 1 台用意します。
- ・2 日目の昼食時に別室にて班構成員会議を行います。

事務局：信州大学医学部第三内科

〒390-8621 松本市旭 3-1-1

TEL 0263-37-2673

FAX 0263-34-0929

2月3日(木)

13:00 主任研究者挨拶 信州大学医学部第三内科 池田修一

13:10 厚生省エイズ疾病対策課挨拶

## I. 重点研究事業 (13:20~14:10)

座長 樋口 京一

1. 試験管内 AL アミロイド線維形成機構の反応速度論モデルの開発、  
および生理的重合阻害分子ならびに非ペプチド性重合阻害剤の探索Ⅱ  
ー試験管内線維伸長の反応速度論的解析ー 13:20  
○高橋直生<sup>1,2)</sup>、長谷川一浩<sup>1)</sup>、山口 格<sup>1)</sup>、下条文武<sup>2)</sup>、上田孝典<sup>3)</sup>、内木宏延<sup>1)</sup>  
福井医科大学第二病理<sup>1)</sup>、新潟大学第二内科<sup>2)</sup>、福井医科大学第一内科<sup>3)</sup>
2. アミロイドーシスモデル動物における発症機序の解明に関する研究 13:45  
○石原得博<sup>1)</sup>、樋口京一<sup>2)</sup>、前田秀一郎<sup>3)</sup>、東海林幹夫<sup>4)</sup>、横田忠明<sup>5)</sup>、  
高橋睦夫<sup>6)</sup>、星井嘉信<sup>1)</sup>、瀬戸口美保子<sup>6)</sup>  
山口大学第一病理<sup>1)</sup>、信州大学加齢適応研究センター脈管病態分野<sup>2)</sup>、  
山梨医科大学第一生化<sup>3)</sup>、群馬大学神経内科<sup>4)</sup>、小倉記念病院<sup>5)</sup>、  
山口大学医学部附属病院<sup>6)</sup>

## II. AA アミロイドーシス (14:10~15:10)

座長 吉崎 和幸

3. 慢性関節リウマチ(RA)に合併した AA アミロイドーシスにおける  
消化管部位別陽性頻の検討 14:10  
○奥田泰章、高杉 潔  
道後温泉病院リウマチセンター リウマチ科
4. SAA1 多型と AA-アミロイドーシス 14:25  
○馬場 聡  
浜松医科大学第二病理
5. IL-6 シグナル伝達阻害による SAA 発現抑制の細胞内伝達機構の解明 14:40  
○吉崎和幸、西本憲弘、松本智成、中原英子、奥畑聡子  
大阪大学健康体育部健康医学第一部門
6. アミロイドーシスを合併した慢性関節リウマチ(RA)の長期予後の解析  
ー特に免疫抑制薬の有用性に関する検討ー 14:55  
○中野正明、長谷川 尚、伊藤 聡、下条文武  
新潟大学第二内科

Coffee Break 15:10-15:30

Ⅲ. 透析アミロイドーシス (15:30~16:45)

座長 下条 文武

7.  $\beta_2$ -Mアミロイド骨関節病変における増殖因子発現細胞 15:30  
○齋藤徳子<sup>1) 2)</sup>、宮崎 滋<sup>2)</sup>、鈴木正司<sup>2)</sup>、森田 俊<sup>3)</sup>、平澤由平<sup>2)</sup>、下条文武<sup>1)</sup>  
新潟大学第二内科<sup>1)</sup>、信楽園病院腎センター<sup>2)</sup>、同 病理<sup>3)</sup>
8. 透析アミロイドーシスモデルマウスの作出 15:45  
○丸山弘樹<sup>1)</sup>、下条文武<sup>1)</sup>、長谷川 進<sup>2)</sup>、多田昇弘<sup>3)</sup>、谷澤龍彦<sup>4)</sup>、宮崎純一<sup>5)</sup>  
新潟大学第二内科<sup>1)</sup>、同 血液浄化部<sup>2)</sup>、大正製薬創薬研究所標的分子研究室<sup>3)</sup>  
信楽園病院整形外科<sup>4)</sup>、大阪大学大学院医学系研究科G6分子防御医学講座<sup>5)</sup>
9.  $\beta_2$ -ミクログロブリン関連アミロイド線維(fA  $\beta_2$ M)の中性 pH 反応液 16:00  
における脱重合反応とアポリポプロテイン E(ApoE)の fA  $\beta_2$ M 安定化作用  
○山口 格<sup>1)</sup>、長谷川一浩<sup>1)</sup>、高橋直生<sup>1, 2)</sup>、下条文武<sup>2)</sup>、内木宏延<sup>1)</sup>  
福井医科大学第二病理<sup>1)</sup>、新潟大学第二内科<sup>2)</sup>
10. 長期にわたる  $\beta_2$  ミクログロブリン( $\beta_2$ MG)吸着療法における骨嚢胞の推移 16:15  
および吸着療法併用時の Factor D の動態  
○原 茂子<sup>1)</sup>、乳原善文<sup>1)</sup>、山田 明<sup>1)</sup>、柴田 猛<sup>2)</sup>  
虎の門病院腎センター内科<sup>1)</sup>、同 血液浄化療法部<sup>2)</sup>
11. 透析アミロイドーシスの骨病変に対する etidronate disodium による治療の試み 16:30  
-2年後の評価-  
○乳原善文、原 茂子、山田 明  
虎の門病院腎センター内科

2月4日(金)

IV. FAP (9:00~10:30)

座長 前田 秀一郎

12. 変異導入マウスを用いたアミロイドーシス発症機構の解析 9:00  
ー血清アミロイドP成分の機能解析ー  
○<sup>まえだしゅういちろう</sup>前田秀一郎<sup>1)</sup>、玉置寿男<sup>1, 2)</sup>、河野裕夫<sup>4)</sup>、坂本美穂子<sup>3)</sup>、岡田芳家<sup>1)</sup>、  
伊藤禎洋<sup>1)</sup>、神庭重信<sup>2)</sup>、石原得博<sup>4)</sup>、尾崎由基男<sup>3)</sup>  
山梨医科大学第一生化<sup>1)</sup>、同 精神神経科<sup>2)</sup>、同 臨床検査医学講座<sup>3)</sup>、  
山口大学第一病理<sup>4)</sup>
13. 家族性アミロイドポリニューロパチー(FAP)患者の心筋アミロイドを 9:15  
構成するトランスサイレチン(TTR)分子種の解析  
○<sup>とくだたかひこ</sup>徳田隆彦<sup>1)</sup>、矢崎正英<sup>1)</sup>、池田修一<sup>1)</sup>、樋口京一<sup>2)</sup>  
信州大学第三内科<sup>1)</sup>、同 加齢適応センター脈管病態分野<sup>2)</sup>
14. 軽微な末梢神経障害を呈するトランスサイレチン型 FAP 9:30  
○<sup>なかざとまさみつ</sup>中里雅光  
宮崎医科大学第三内科
15. 本邦初の家族性アミロイドポリニューロパチー(FAP)の compound heterozygote 9:45  
(FAP ATTR Val30Met/ATTR Arg104His)  
安東由喜雄<sup>1)</sup>、○<sup>なかむらまさあき</sup>中村政明<sup>2)</sup>、寺崎久泰<sup>3)</sup>、松永典子<sup>1)</sup>、山下園加<sup>1)</sup>、大林光念<sup>2)</sup>、  
田島和周<sup>2)</sup>、安藤正幸<sup>3)</sup>  
熊本大学臨床検査医学講座<sup>1)</sup>、同 神経内科<sup>2)</sup>、同 第一内科<sup>3)</sup>
16. 遺伝カウンセリングで見いだされた症状の乏しい家族性アミロイドポリ 10:00  
ニューロパチー(FAP)患者に対する肝移植の適応  
池田修一、○<sup>たけいよういち</sup>武井洋一、服部 健  
信州大学第三内科
17. 家族性アミロイドポリニューロパチー(FAP ATTR)患者の肝臓移植後の 10:15  
眼科検診の必要性について  
安東由喜雄<sup>1)</sup>、○<sup>てらざきひさやす</sup>寺崎久泰<sup>2)</sup>、大林光念<sup>3)</sup>、田島和周<sup>3)</sup>、中村政明<sup>3)</sup>、山下園加<sup>1)</sup>、  
松永典子<sup>1)</sup>、安東えい子<sup>4)</sup>、安藤正幸<sup>2)</sup>  
熊本大学臨床検査医学講座<sup>1)</sup>、同 第一内科<sup>2)</sup>、同 神経内科<sup>3)</sup>、  
国立熊本病院眼科<sup>3)</sup>

Coffee Break 10:30~10:45

V. AL アミロイドーシス (10:45 ~ 12:00)

座長 山田 正仁

18. AL アミロイドーシス発症に関する骨髄腫細胞の細胞生物学的研究 10 : 45  
ーヒト骨髄腫細胞の SCID-hIL6 transgenic mice への移植系の確立ー  
○<sup>かわのみちお</sup>河野道生、石川秀明、藤井龍一  
山口大学寄生体（免疫血液）学講座
19. AL アミロイドーシスを免疫組織化学的に診断しうる抗免疫グロブリン L 鎖 11 : 00  
抗体の作製および組織切片への適用  
○<sup>ほしむねのぶ</sup>星井嘉信<sup>1)</sup>、岩田隆子<sup>2)</sup>、瀬戸口美保子<sup>3)</sup>、石原得博<sup>1)</sup>  
山口大学第一病理<sup>1)</sup>、同 医療技術短期大学部<sup>2)</sup>、同 医学部附属病院病理部<sup>3)</sup>
20. 多発性骨髄腫に伴うアミロイドーシスの臨床的検討 11 : 15  
ー血中遊離 L 鎖との関連についてー  
○<sup>あさおくひでき</sup>麻奥英毅<sup>1)</sup>、栗原寛治<sup>2)</sup>、藤原 恵<sup>2)</sup>  
広島赤十字原爆病院第 4 内科<sup>1)</sup>、同 病理部<sup>2)</sup>
21. AL アミロイドーシスに対するアミロイド原性 L 鎖アンチセンス治療の開発 11 : 30  
○<sup>いとうふみお</sup>伊東文生、吉本 満、大野聡子、今井浩三  
札幌医科大学第一内科
22. AL アミロイドーシスに対する大量デキサメサゾン・ $\alpha$ -インターフェロン 11 : 45  
療法の検討  
山田正仁<sup>1)</sup> \*、○<sup>きかちとまさみ</sup>坂本昌己<sup>1)</sup>、入岡 隆<sup>1)</sup>、神田 隆<sup>1)</sup>、水澤英洋<sup>1)</sup>、大橋健一<sup>2)</sup>、  
窪田哲朗<sup>3)</sup>  
東京医科歯科大学大学院脳神経機能病態学<sup>1)</sup>、現 金沢大学神経内科\*、  
東京医科歯科大学医学部附属病院病理部<sup>2)</sup>、同 保健衛生学科<sup>3)</sup>

昼 食・班構成員連絡会議(11 階 桜の間) (12:00~13:30)

VI. 脳アミロイドーシス (13:30~15:00)

座長 森 啓

23. 脳アミロイドーシス形成の分子機構に関する基礎医学的研究 13 : 30  
○<sup>かめたにふゆき</sup>亀谷富由樹<sup>1)</sup>、田中喜久子<sup>1)</sup>、佐原成彦<sup>2)</sup>、森 啓<sup>1,2)</sup>  
東京都精神医学総合研究所<sup>1)</sup>、大阪市立大学老年医学研究部門脳神経科学<sup>2)</sup>
24. アルツハイマー病 $\beta$ アミロイド線維の試験管内形成反応における 13 : 45  
 $\beta$ ペプチド 1-42 と 1-40 の相互作用  
○<sup>はせがわかずひろ</sup>長谷川一浩<sup>1)</sup>、山口 格<sup>1)</sup>、下条文武<sup>2)</sup>、内木宏延<sup>1)</sup>  
福井医科大学第二病理<sup>1)</sup>、新潟大学第二内科<sup>2)</sup>

25. 脳アミロイド沈着におけるリポ蛋白フリーA $\beta$ の役割 14:00  
東海林幹夫<sup>1)</sup>、○松原悦朗<sup>1)</sup>、池田将樹<sup>1)</sup>、針谷康夫<sup>1)</sup>、岡本幸市<sup>1)</sup>、平井俊策<sup>2)</sup>  
群馬大学神経内科<sup>1)</sup>、東京都立神経病院<sup>2)</sup>
26. アルツハイマー病(AD)脳におけるアミロイド $\beta$ 蛋白(A $\beta$ 42)分子種の沈着に関する神経病理学的検討 14:15  
玉岡 晃、○望月昭英、下畑充志、庄司進一  
筑波大学臨床医学系神経内科
27. ヒト血小板に含まれるアミロイド $\beta$ 蛋白(A $\beta$ )分子種の定量とアポリポ蛋白E (APOE)-E4 アイソフォームとの相関関係の解析 14:30  
○玉岡 晃、松野佐好子、庄司進一  
筑波大学臨床医学系神経内科
28. アミロイドアンギオパチーに起因する多発性脳出血に対する副腎皮質ステロイド療法の試み 14:45  
○池田修一<sup>1)</sup>、星 研一<sup>1)</sup>、吉田邦広<sup>1)</sup>、玉岡 晃<sup>2)</sup>  
信州大学第三内科<sup>1)</sup>、筑波大学臨床医学系神経内科<sup>2)</sup>

*Coffee Break (15:00~15:20)*

VII. SAM 関連・その他アミロイドーシス (15:20~16:35) 座長 石原 得博

29. マウス老化 amyloid 蛋白質 (apoA-II) mRNA の発現: in situ hybridization 法による解析 15:20  
○付 麗<sup>1)</sup>、千葉卓哉<sup>1)</sup>、Xing Yanming<sup>1)</sup>、是永龍巳<sup>1)</sup>、郭 占群<sup>1)</sup>、森 政之<sup>1)</sup>、樋口京一<sup>1)</sup>、松山郁生<sup>2)</sup>、中山 淳<sup>3)</sup>  
信州大学加齢適応研究センター 脈管病態分野<sup>1)</sup>、長野県がん検診センター病理部<sup>2)</sup>、信州大学臨床検査医学<sup>3)</sup>
30. C type ApoA-II amyloid fibril can accelerate amyloidosis in SAMR1 mice 15:35  
○Xing Yanming<sup>1)</sup>、付 麗<sup>1)</sup>、中村明宏<sup>1)</sup>、樋口京一<sup>1)</sup>、細川昌則<sup>2)</sup>、亀谷富由樹<sup>3)</sup>  
信州大学加齢適応研究センター 脈管病態分野<sup>1)</sup>、京都大学再生医科学研究所<sup>2)</sup>、東京都精神医学総合研究所<sup>3)</sup>
31. 動脈硬化における Serum Amyloid P Component の役割に関する研究 15:50  
○李 祥安、畑中 薫、下門顕太郎、由谷親夫  
国立循環器病センター

32. 精囊アミロイドーシスの免疫組織化学的検討 16:05

○瀬戸俊彦、権藤俊一、河野裕夫、星井嘉信、石原得博  
山口大学病理学第一講座

33. アミロイドーシスの全国疫学調査成績 16:20

中川秀昭<sup>1)</sup>、森河裕子<sup>1)</sup>、三浦克之<sup>1)</sup>、石原得博<sup>2)</sup>、○池田修一<sup>3)</sup>、伊藤祐子<sup>4)</sup>、  
玉腰暁子<sup>4)</sup>、大野良之<sup>4)</sup>、川村 孝<sup>5)</sup>  
金沢医科大学公衆衛生<sup>1)</sup>、山口大学第一病理<sup>2)</sup>、信州大学第三内科<sup>3)</sup>、  
名古屋大学予防医学<sup>4)</sup>、京都大学保健管理センター<sup>5)</sup>

終了後 評価（小）委員会 （11階 桜の間）



## [VI] 班構成員名簿

アミロイドーシスに関する研究班 班員名簿 (平成11年度) 平成12年3月現在

氏名	所属	職名	所属住所	TEL	FAX	E-Mail address
池田 修一 (主任)	信州大学医学部第三内科	教授	〒390-8621 松本市旭3-1-1	0263-37-2671	0263-34-0929	
今井 浩三	札幌医科大学医学部第一内科	教授	〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目	011-611-2111 (内線3210)	011-613-1241	
玉岡 晃	筑波大学臨床医学系神経内科	助教授	〒305-8575 つくば市天王台1-1-1	0298-53-3223	0298-53-3224	
東海林 幹夫	群馬大学医学部神経内科	講師	〒371-8511 前橋市昭和町3-39-22	027-220-8064	027-220-8068	
下条 文武	新潟大学医学部第二内科	教授	〒951-8510 新潟市旭町通1-757	025-277-2192	025-227-0775	
樋口 京一	信州大学医学部加齢適応研究センター 脈管病態分野	教授	〒390-0316 松本市旭3-1-1	0263-37-2691	0263-36-3662	
前田 秀一郎	山梨医科大学医学部第一生化学	教授	〒409-3898 山梨県中巨摩郡玉穂町下河東1110	055-273-6740	055-273-6740	
山田 正仁	金沢大学医学部神経内科	教授	〒920-8640 金沢市宝町13-1	076-265-2290	076-234-4253	
原 茂子	虎の門病院分院腎センター血液浄化療法部	部長	〒213-0015 川崎市高津区堀ヶ谷1-3-1	044-877-5111	044-877-5333	
馬場 聡	浜松医科大学医学部第二病理学	助教授	〒431-3192 浜松市半田町3600	053-435-2223	053-435-2224	
内木 宏延	福井医科大学医学部第二病理学	教授	〒910-1193 福井県吉田郡松岡町下合月	0776-61-8320	0776-61-8123	
森 啓	大阪市立大学老年医学研究部 門脳・神経系分野	教授	〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3	06-6645-3920	06-6645-3922	
吉崎 和幸	大阪大学健康体育部健康医学部 第一部門	教授	〒565-0871 吹田市山田丘2-1	06-6879-8961	06-6879-8971	
由谷 親夫	国立循環器病センター 臨床検査部病理	部長	〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1	06-6833-5012	06-6872-8100	
麻奥 英毅	広島赤十字原爆病院第4内科	副部長	〒730-0052 広島市中区千田町1丁目9-6	082-241-3111	082-246-0676	
石原 得博	山口大学医学部第一病理学	教授	〒788-8505 宇都市南小串1丁目1番1号	0836-22-2218	0836-22-2219	
河野 道生	山口大学医学部寄生体学	教授	〒755-8505 宇都市南小串1丁目1番1号	0836-22-2341	0836-22-2237	
高杉 潔	道後温泉病院リウマチセンター リウマチ内科	理事長	〒790-0858 松山市道後姫塚乙21-21	089-933-5131	089-933-5137	
安東 由喜雄	熊本大学医学部臨床検査医学	講師	〒860-0811 熊本市本荘1丁目1-1	096-373-5692	096-371-0582	
中里 雅光	宮崎医科大学医学部第三内科	講師	〒889-1692 宮崎県宮崎郡清武町木原5200	0985-85-7972	0985-85-7902	
事務局長 徳田隆彦、倉科美鈴	信州大学医学部第三内科		〒390-8621 松本市旭3-1-1	0263-37-2673	0263-34-0929	

個人情報のため  
掲載を差し控え  
させていただきます